

令和 8 年 度

宝塚市下水道事業会計補正予算書

(1)

宝塚市上下水道局

議案第68号

令和8年度宝塚市下水道事業会計補正予算(第1号)

(総則)

第1条 令和8年度宝塚市下水道事業会計補正予算(第1号)は、次に定めるところによる。

(収益的支出)

第2条 令和8年度宝塚市下水道事業会計予算(以下「予算」という。)第3条に定めた収益的支出の予定額を次のとおり補正する。なお、営業運転資金に充てるため水道事業会計から長期借入100,000千円を借り入れる。

		支 出	
(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
第1款 下水道事業費用	4,679,441千円	1,000千円	4,680,441千円
第3項 特別損失	1,501千円	1,000千円	2,501千円

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第3条 予算第8条に定めた予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合を次のとおり補正する。

(2) 過年度損益修正損に不足が生じた場合における営業費用及び特別損失間の流用

令和8年(2026年)9月1日提出

宝塚市長 森 臨太郎

補正予算に関する説明書

(1)

令和8年度宝塚市下水道事業会計補正予算(第1号)実施計画

収益的支出

支出

(千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1	下水道事業費用		4,679,441	1,000	4,680,441	
	3	特別損失	1,501	1,000	2,501	
		2 過年度損益修正損	1,500	1,000	2,500	前年度以前の損益の修正損

令和 8 年度宝塚市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書
(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
人件費支出	△ 156,665
流域下水道維持管理負担金支出	△ 1,194,270
流域下水道維持管理負担金精算による支出	△ 6,827
商品又はサービスの購入による支出	△ 761,588
下水道使用料収入	2,418,246
国庫補助金による収入	30,450
一般会計からの繰入金による収入	1,154,452
預り金の受取額	101,808
預り金の支払額	△ 101,808
その他の収入	40,863
その他の支出	△ 45,708
小計	1,500,310
利息の支払額	△ 219,515
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,280,795
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1,110,929
流域下水道建設改良負担金支出	△ 173,800
国庫補助金による収入	198,450
一般会計からの繰入金による収入	65,827
長期貸付金の返済による収入	570
長期貸付けによる支出	△ 1,080
工事負担金収入	2,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,018,161
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
企業債による収入	970,054
企業債の償還による支出	△ 1,510,896
一時借入れによる収入	400,000
一時借入金の返済による支出	△ 400,000
他会計借入金による収入	100,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 440,842
資金減少額	178,208
資金期首残高	225,747
資金期末残高	47,539

注記事項

I 資金の範囲

資金期末残高と予定貸借対照表に掲記されている現金預金は一致している。

令和8年度宝塚市下水道事業予定貸借対照表
(令和9年3月31日)

(千円)

資 産 の 部									
1	固	定	資	産					
(1)	有	形	固	定	資	産			
	ア	土				地	24,006,767		
	イ	建	価	却	累	物	64,487		
	ウ	構	価	築	計	額	<u>△ 55,114</u>	9,373	
	エ	機	価	却	累	物	84,597,721		
	オ	減	価	及	び	額	<u>△ 44,182,693</u>	40,415,028	
		工	具	具	及	置	759,297		
		減	価	却	累	計	<u>△ 557,639</u>	201,658	
		建	設	仮	勘	額	5,231		
	カ	有	形	固	定	産	<u>△ 4,596</u>	635	
		無	形	固	定	資		789,808	
	(2)	ア	施	設	利	用			65,423,269
		イ	電	話	加	入	4,807,982		
		ウ	そ	の	無	形	0		
		無	形	固	定	資	<u>35,598</u>		
	(3)	投				産			4,843,580
		ア	出		資	金	9,133		
		イ	貸		付	計	<u>510</u>		
		投			合	金		9,643	
	固	定	資	産	合	計			70,276,492
2	流	動	金	預	金	計			
(1)	現					金		47,539	
(2)	未			収	引	金	392,793		
(3)	前	倒		払	当	金	<u>△ 2,000</u>	390,793	
資	流	動	資	産	合	計		<u>80,000</u>	
									518,332
									<u>70,794,824</u>
負 債 の 部									
3	固	定	負	債					
(1)	企	会	業	借	入	債	11,215,108		
(2)	他	計	未	付	引	金	1,670,000		
(3)	長	期	給	付	合	金	23,631		
(4)	退	職	負	債		計	<u>181,356</u>		
4	固	定	動	負		債			13,090,095
(1)	企			業		債	1,615,766		
(2)	未			払		金	314,426		
(3)	未		払	費		用	6,213		
(4)	預			引		金	7,272		
(5)	賞	与	負	債	当	計	<u>16,710</u>		
5	流	動				金			1,960,387
繰	繰	延	期	前	受	益	31,406,780		
(1)	長	延	期	化	累	額	<u>△16,485,777</u>		
負	繰	延	債	収	益	計			14,921,003
									<u>29,971,485</u>
資 本 の 部									
6	資	本	本	合		金			
(1)	資	本	金			計	<u>24,976,030</u>		
7	資	本	余			金			24,976,030
(1)	資	受	贈	財	産	評	13,379,795		
	ア	国	庫	補	助	額	87,379		
	イ	そ	の	資	本	余	<u>59,478</u>		
	ウ	本	剰	余	金	計		13,526,652	
(2)	利	当	年	度	未	処			
	ア	益	剰	余	分	利	<u>2,320,657</u>		
	利	余	金		合	計		<u>2,320,657</u>	
資	負	債	資	本	合	計			15,847,309
									<u>40,823,339</u>
									<u>70,794,824</u>

注記事項

I 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法	定額法
・主な耐用年数	構築物 20年～50年 機械及び装置 5年～23年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法	定額法
・主な耐用年数	施設利用権 50年

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における職員に対する退職手当の要支給額と兵庫県市町村職員退職手当組合に対する積立金不足相当額(協定書に基づく病院事業に対する総支払額を控除した額)の合計額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込み額に基づき、当年度の負担に属する額(賞与引当金の計上に伴い必要となる法定福利費見込額を含む。)を計上している。

(3) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

なお、控除対象外消費税等は全額当年度の費用に計上している。

II 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(当年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものを含む)のうち、他会計が負担すると見込まれる額は3,159,979千円である。

III 減損損失

1 グルーピングの方法

下水道事業に使用している固定資産は、その全てが一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、全体を1つの資産グループとしている。

2 減損の兆候

当年度において、減損の兆候は認識していない。

IV リース契約により使用する固定資産

1 オペレーティング・リース取引に係る未経過リース料相当額

1 年内	982,916円
------	----------

補正予算に関する資料

(1)

収益的支出

支出

(千円)

項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	
3	特別損失		1,501	1,000	2,501	
	2	過年度損益修正損	1,500	1,000	2,500	
		過年度損益修正損	1,500	1,000	2,500	前年度以前の損益の修正損